

中学校英語情報誌

Sunshine Letter

先生方に
役立つ情報を
お届けしています。



ガイドキャラクター
サンシャインくん

AOISAPORUKUN
sakokkif:122358569975
akaoikmc:12135-33697024
sakosa:6897413-32355-21345

誰でもかんたん! ICT活用

2023.10

Vol. 5

Iren_Geo, metamorworks/Shutterstock.com

中学校で実際に行われているICTの活用法をご紹介します。

本資料は「教科書発行者行動規範」に則り、配布を許可されているものです。

Sunshine
Letter

は
Webコンテンツと
連動しております。

KAIRYUDO

今回のテーマは…

誰でもかんたん! ICT活用



ICTに人間らしさを求める

かつての機械翻訳で、Time flies like an arrow.を「時間蠅は矢を好む」と和訳したという。教師の仕事は安泰と思われたが、その後のAI翻訳の進歩はめざましく、その精度や速度はその頃よりはるかに高いレベルに達している。「もう外国語の勉強はいらない」と言われる日が来るのだろうか。

ICTは、授業の在り方も変えつつある。あらゆる学習場面でできることは格段に増え、便利になった。タブレット端末などで情報検索、翻訳を行い、驚くほどすばらしい英語のプレゼンテーションがなされることがある。作った本人は理解しておらず、聞き手からの質問に答えられない、そこで終わってよいのか。技能的な効率ばかりを評価すれば、教師の存在が危ぶまれる。

ICTの可能性を、ぜひ人間らしい学びのプロセスに活用

したい。そのために、生徒が使えること、使いたいこと、を選択していく必要がある。AIの提案を鵜呑みにせず、使う側の個性や感性をどのように伝えるのか、「一人十色」で予測不可能な人間の個性や感性、すなわち「人間らしさ」をどう感じ、どうわかりやすく伝えるのか。電卓が登場しても算数・数学がなくならなかったように、「人間らしさ」を育むことがこれからの英語教育にますます求められる。そこにAI(愛)はあるんか、と問うてみたい。

深澤 清治

広島大学名誉教授。全国英語教育学会会長、日本教科教育学会会長として、教科としての英語の大切さを訴える。



先生方のICTツールの活用の仕方をいっしょに見てみよう!



CONTENTS

02 巻頭言 … 深澤 清治

04 RECOMMEND
私のICT活用法 … 西林 慶武/山田 直樹

06 特集
使いたい機能から始めよう!
誰でもかんたん! ICT活用 … 大塚 謙二

08 Webリレーコラム … 大場 浩正
知っておきたい特別支援教育 … 飯島 睦美

私のICT活用法

中学校で指導されているお二人の先生に、授業内外でのICT活用法をシェアしていただきました。

西林 慶武

北海道登別市立
幌別中学校教諭



北端の地である礼文島、稚内市やペ
ルリン日本人学校(ドイツ)などでの
教職経験を経て現職。

▶ 自立した学習者を育てるデジタル教科書の活用法

各生徒の端末にデジタル教科書がインストールされたことにより、「個別最適な学び」の具現化が求められています。

1 デジタル教科書でできることは？

デジタル教科書の一番の強みは、音声や映像を活用して生徒が個別に学べる点です。音声再生機能には、

「通常再生」のほかに「チャンク再生」「役割再生」があり、1人でもチャンク読みや役割読みを練習できます。

2 音読活動にねらいを持たせる

デジタル教科書を使うと、シャドーイングをはじめ、さまざまな音読活動を効果的に行えます。左下の表に紹介した機能を使えば、生徒は自分に最適な学習法を見つけ出せます。ここで留意したいのが、それぞれの活動には異なる効果やねらいがあるという点です。活動の際には、教師はもちろん、生徒がそのねらいを意識することで効果が高まります。

3 学習の自己調整を意識させる

自立した学習者を育てるためには、各生徒が必要な学習活動を選び、意欲的に取り組み、学びを振り返ったあとで、学習の自己調整をすることが大切です。

たとえば、音読活動後には、その回数を記録することで、自らの学習を振り返る習慣を身につけることができます。SUNSHINEのThinkページ下部に掲載されている音読マークを塗りつぶすだけでなく、生徒に配付するプリントに音読マークを印刷しておくのもいいでしょう。

活動を終えるごとに教師が各生徒の学習状況を確認し、助言することで、生徒の自己調整力を向上させ、自立した学習者を育てることにつながります。



▶ これだけは知っておこう！ 「1人1台端末」を生かす工夫

「1人1台端末環境は、もはや令和の時代における学校の『スタンダード』であり、特別なことではない。我が国の150年に及ぶ教育実践の蓄積の上に、最先端のICT教育を取り入れ、これまでの実践とICTとのベストミックスを図っていくことにより、これからの学校教育は劇的に変わる。」

～令和元年(2019年)12月19日
文部科学大臣のメッセージより～

GIGAスクール構想によって、1人1台端末の活用はすでに令和の学校現場での「スタンダード」となりました。今回は私が行っている活用方法をいくつかご紹介します。

1 Googleフォーム

Googleが提供するサービスの1つで、無料でアンケート(下図)や家庭学習プリントなどのフォームを作成できます。

フォームを簡単に作成できるだけでなく、集計や分析をアシストする機能もあり、ICTに不慣れな先生にとっても扱いやすいツールです。

学習アンケートや家庭学習、長期

休暇中の課題など、多岐にわたって活用できます。

2 Google Classroom

教育現場向けオンライン学習サービスで、クラス単位で提出物や学習内容を管理できます。以下のような機能が挙げられます。

- 宿題の提出・確認
- 提出物へのフィードバックや、採点後の成績確認
- メールやストリーム機能を用いた、教師や級友への質問・情報共有

さらに、これまではノート等を使っていた提出物が、提出から教師の確認までタブレット上で完結できるのも利点です。ペーパーレスで情報を伝達できるため、不登校生徒への課題提示にも有効です。

3 Googleスライド

画像や文字を入れて、プレゼンテーション用のスライドを簡単に作成できます。自己紹介等のスピーチでビジュアルエイドとして活用することもできます。

山田 直樹

北海道美幌町立
北中学校教諭



北海道出身。駒澤大学卒業後、オホーツク管内公立中学校で教鞭を執る。研究会をはじめ、教員研修会の講師を務める。

4 その他の授業支援ソフト

「ロイロノート」は、思考ツールが充実しており、生徒のアイデアを可視化できます。また、多様なツールでアイデアの発散・収束をくり返し、新しい考えを作り出せます。

「SKYMENU cloud」では、「ポジショニング」という機能を活用し、自分の考えを表現できます。テーマに沿った意見を英文でコメント欄に入力することで、考えを友だちと共有・交流できるのも魅力です。

また、「eライブラリ」は、学年ごと・教科ごとに教材を収録した学習支援サービスです。生徒一人ひとりに応じたコンテンツが豊富にそろっており、主体的な学びを助けてくれます。家庭学習や長期休暇中の宿題などで有効に活用できます。

▼表 SUNSHINE デジタル教科書のおもな機能と活用場面

機能	選択肢	活用場面
読み間隔	長い 短い なし	音声をリピート音読する際に間隔を選択するとよい
カラオケ	あり 消える なし	文字色の変化に合わせて音読練習ができる
はやさ	はやい ふつう おそい	シャドーイングやチェイシング音読、音声を確認する際に効果的
チャンク	あり なし	句や節を意識しながら音読練習することが可能
文表示	あり 役割表示 なし	英文を見ずに、音声に意識を集中させる活動に有効
和訳	あり 部分和訳 指定和訳 和訳のみ なし	<ul style="list-style-type: none"> • 部分和訳や指定和訳の機能では文法・語法を明示的に説明できる • 和訳のみを表示すると、内容理解や英訳活動として活用できる
マスク	新単語 品詞分け 単語選択 文選択 なし	<ul style="list-style-type: none"> • 指定した単語や文にマスクをかけて空所を設定することができる • 文法・語法の説明や、空所補充の活動として活用できる
動画再生	字幕表示する 表示なし	字幕なしで音声を消音して動画を再生することで、会話の内容を想像させる活動ができる

▼図 Googleフォームで作成した学習アンケート例

美幌北中 英語科 学習アンケート【2023前期】
前期の学習を振り返ります。それぞれの欄に答えましょう。
4は「Very good」、3は「Good」、2は「So so」、1は「Poor」

あなたの学年を教えてください。*

1年
 2年
 3年

あなたのクラスを教えてください。*

A組

各サービスを上手に活用することで、先生の負担軽減にもつながるね。



使いたい機能から始めよう!

誰でもかんたん! ICT活用



大塚 謙二

北海道厚真町立
厚南中学校教諭

Profile

SUNSHINE ENGLISH COURSE 著者、1998年
松下視聴覚教育研究財団研究賞・2003年第
16回英検研究助成・2009年度文部科学大臣
優秀教員表彰受賞、著書やDVD多数。



「ICTはちょっと苦手」と思っている先生がいるかもしれません。日本語であるにも関わらず、パソコン用語は難しく、最初の一步を踏み出せずにいる先生もいることでしょう。しかし、Windows 95が発売された1995年に比べて、使用者のスキルは格段に上がっています。使える機能・使いたい機能から練習し、授業で活用してみましょう。

コロナ禍で急速に普及した生徒用端末のシェアは、1位 Chromebook (43.8%)、2位 iPad (28.2%)、3位 Windows (28.1%) (GIGAスクール構想実現に向けたICT環境整備調査 2021年2月MM総研)でした。先生たちの使い慣れたパソコンと機種が異なる場合は違和感があるかもしれませんが、どの機種でもできることはほぼ同じです。慣れることから始めましょう。

まずは
スマートフォン感覚で、
気軽に触れてみるのが
活用の第一歩だね。



教師用・生徒用端末の 活用方法

パソコンは30年前と比べて大発展を遂げたように思われますが、実は高速化・自動化が進み、データ量が増え、画像がより鮮明になったくらいで、できることは当時とほぼ同じです。

一方、英語教育について考えてみると、以前のLL教室以上のことが一般教室でもできるようになりました。本校の教室には大型スクリーンがあり、生徒は下校時にタブレット端末を持ち帰ります。本校での教師用・生徒用端末の活用方法をご紹介します。使用教科書はSUNSHINE ENGLISH COURSEです。

■ 教師用端末 (主に教材提示に活用)

- 1 Scenesの学習 (音声・アニメーション)
- 2 新出語句の練習
- 3 本文の内容理解、音読練習
- 4 Retellなどの学習
- 5 即興スピーチ用ヒントの提示

6 Teacher Talkに使う写真や動画の提示

7 生徒の発話活動の画像や英文提示

■ 生徒用端末

- 1 各自で音読練習し、それを録画して確認
※音読練習時には100円ショップのイヤホン使用
- 2 音読テストの動画提出
- 3 即興スピーチのヒント表示、メモ作成
- 4 個人で英文作成 [まとまった量の英作文の宿題やCBT (Computer-Based Testing) を含む]
- 5 グループで画面共有して英文作成 (本文学習後に内容に関する Question Making、学習した文法を使った英作文、グループで作成する Our Project の英作文等)
- 6 スピーチや Show & Tell をする時の写真や動画提示 (スクリーンで画面共有)
- 7 学習支援ソフトの活用 (授業、宿題、長期休みで実施：本校はeライブラリを使用)
- 8 欠席生徒へのオンライン授業

アニメ教材で学びを深めよう

SUNSHINEでは、1課の中で①Scenes (文法 以下同) → Think (本文 以下同) → Scenes → Think のようにも、②Scenes全部 → Think全部 のようにも指導できますが、私は後者をオススメします。新出文法を先にまとめて学習しておく、その後の言語活動で何度もくり返し使い、本文学習時にも継続して新出文法に触れることができるからです。そのため、学びを深めながら自己表現



活動につなげることができ、高い定着率を見込めます。また、本文を一気に学習するので、スムーズに授業を進めることができます。その結果、授業進度が以前より早くなり、生徒の発話力も高まりました。

Scenesについては、デジタル教科書に入っているアニメが新出文法の使用場面や状況の理解に非常に役立ちます。このアニメを使った指導の流れをご紹介します。

- 1 音声だけを聞かせて場面、状況、内容を想像させる。
- 2 聞き取れたことを発表させる。
- 3 アニメを見せ、2の答えを確認する。
- 4 内容を正確に理解させる。(生徒を通訳者に見立てて音声を1文ずつ聞かせ、適宜日本語で説明させてもよい。)
- 5 字幕付きアニメを見せ、新出文法の使用場面や状況を考えさせる。

このようにアニメを活用しながら新出文法を指導すると、従来の文字と音だけの指導に比べて生徒の集中力は高まり、ストーリーにオチがあるときは笑いが起こるようになりました。

機能豊富なICTは、使えること・使いたいことから少しずつ試してみることで明日のスキルアップにつながり、さらに便利な使い方を作り出すことができます。見切り発車でも、まずは触れることから始めてみませんか。

2024年1月20日(土)

大塚先生によるオンラインセミナー 開催決定!

今号のテーマ『誰でもかんたん! ICT活用』について、大塚先生にお話しいただきます。スマートフォンからのご出席も可能です。奮ってご参加ください!

詳細については、後日開隆堂ホームページに掲載される情報をご確認ください。

新連載

Webリレーコラム

— 第1回 —

大場先生に聞いてみた



大場 浩正 上越教育大学教授

1988年から北海道釧路湖陵高等学校に勤務。1994年から北海道医療大学で英語を、2001年から上越教育大学で英語教育等を指導。現在は学部、教職大学院および博士課程で教鞭をとる。

本号から、長らく日本の英語教育を支えてきた先生方による「リレーコラム」を全4回で連載いたします。

今回の質問はこちら！

- 英語に興味を持ったきっかけは？
- 教員を目指そうと思った理由は？
- SUNSHINEのイチオシは？
- 自分が今、中学校の先生だったら、どんなことに挑戦したい？
- 今後の英語教育に期待することは？



大場先生の回答はこちらから！ ➡

知って
おきたい

特別支援教育

第5回 ボトムアップの単語学習

単語学習が苦手な学習者の中には、第4回でお伝えした「記憶のメカニズム3段階」におけるつまずきとはまた別の特性を持つ学習者がいます。単語が提示されると、即座に異なる単語を「元気よく」発音する学習者です。たとえば、“with”という単語を見て、即座に“what”と発音する学習者は、最初のw、その後のhやtを目にして、脳内でなんとなく知っている単語に置き換えています。これは、第1回でお伝えした視知覚、空間認知の弱さや多動性が影響している可能性があります。

このような学習者には、まずはフォニックス指導をしっかりと行い、文字を正確に音に直すボトムアップの作業を丁寧にする事で改善されます。彼らは帰納的学習方法や曖昧性の理解に弱く、類似した学習項目に苦手感を持つことが多いため、明示的指導が効果的です。実際の指導例を右に示します。

例 1

with
wig
winter
what
whip
where

例 2

er
ter
nter
inter
winter

例 3

with
where
winter
what
wig
whip

例1：wi-, wh-で始まるいくつかの単語を文字に注意して音に直し、発音練習

例2：例1で音に直せない単語は、後ろから音に直し、つなげる作業(例：winter)

例3：順不同で提示し、自動的に音に直す練習

飯島 睦美 群馬大学 大学教育センター教授

英国バーミンガム大学修士。大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程単位満期取得退学。



中学校英語情報誌

非売品

Sunshine Letter Vol.5



開隆堂出版株式会社

本社 〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1 ☎ 03-5684-6111

2023年10月10日印刷 2023年10月16日発行 編集兼発行人 岩塚太郎

発行所 開隆堂出版株式会社 〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1

☎ (03) 5684-6121 (営業)、5684-6118 (販売)、5684-6115 (編集) <https://www.kairyudo.co.jp/>

北海道支社 〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11-4-21 52山京ビル7階 ☎ 011-231-0403
 東北支社 〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡4-3-10 仙台TBビル4階 ☎ 022-742-1213
 名古屋支社 〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵1-15-18 オフィスサンゴヤ9階 ☎ 052-908-5190
 大阪支社 〒550-0013 大阪府大阪市西区新町2-10-16 ☎ 06-6531-5782
 九州支社 〒810-0075 福岡県福岡市中央区港2-1-5 FYCビル3階 ☎ 092-733-0174